

# 大河ドラマのつどい

2024年度 第2回 「光る君へ 後半」

～歴史に興味のある方々へ～

向夏の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年2月に開催しました第1回目に引き続き、2024年度 第2回『大河ドラマの集い』「ひかる君へ 後半」を開催させていただきます。

物語のこれまでの放送分(第1回～25回)のおさらいや、今後の見どころについてを時代背景や人物関係、配役などを中心に皆様と語り合いたいと思います。

ご参加いただくことにより、「光る君へ」の後半をよりいっそう楽しく観ていただければと思います。

当日は、お茶など飲みながら和気あいあいと進めていきますので、みなさまお気軽にご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2024年 6月29日(土曜日)午後2時より

場所 蓮光寺三階ホール

対象 檀信徒さまの有無関係なく開催させていただきます。

参加費 無料

参加方法 電話もしくはメールにてご連絡下さい。

☎電話059-363-0652(蓮光寺)

✉メール renkoji@m7.cty-net.ne.jp

参加締切り 6月29日(土曜日)

\*第2回からのご参加、当日飛び入りの方のご参加も大歓迎です。

2024年大河ドラマ『光る君へ』

毎週日曜日 NHK総合 午後8時 (再放送毎週土曜日午後1時5分)

BSプレミアム/BS4k 午後6時 BSプレミアム4k 午後0時15分

源氏物語の作者 紫式部の物語(960年頃 ~1031年頃)諸説有り

平安時代に世界最古の長編恋愛小説『源氏物語』を書き上げた女性です。この「光る君へ」では、当時の権力者であった藤原道長との関係を大胆な物語として描き、彼女の秘めた情熱とたぐいまれな想像力で、光源氏=光る君のストーリーを紡いでいきます。

現在は第22回まで放送されています。(6月2日現在) 物語の後半では、国主として赴任する父に従い、越前(現在の福井県)に向かった、まひろ(紫式部)が、宋(現在の中国)の人々との交流を経て、京都に帰還。その後、藤原宣孝との結婚、やがて源氏物語を執筆して、道長の娘、彰子の女房として朝廷に仕えるお話など多くの出来事が描かれていきます。